〔大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可〕
夕刊
新京日日新聞
定價 一箇月一圓 郵稅 一箇月二十錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話〇〇・三三・五二・三二番
發行人 十河 榮忠 男
編輯人 松本
印刷人 谷 啓二郎

蘇聯の物資は缺乏最も甚し
レーニングラードを追はれた朝鮮人雜貨商語る

一九一八年來レーニングラードに於て雜貨商を經營して居た朝鮮人李乘泰君は蘇聯に於て本年一月より第二次五ケ年計畫開始され個人營業全く禁ぜられた爲め已むなく退露し一月二十五日新京に來つたが同君は最近の蘇聯現狀につき次の如く語る

第二次五ケ年計畫は本年より開始され個人經營の小商工業は全部國營に改められつゝある、物資の對外輸出は益々強制的となつた爲め國內物資缺乏は依然甚しい勞働者の所得は土地と職業に依つて異るが平均して熟練工で一ケ月日本金四十圓位、そして一ケ月二回に支拂を受ける、食糧品日用品は全部官廳配給の切符により國營の機關から支給を受けて居る、目下露國內には日本軍の滿洲占據は西比利亞進出の前提であるとの流言盛んに行はれてゐる

自分は一月十日レーニングラードを出發シベリヤ線を通つて來たが途中聞いた軍隊輸送は見られなかつた然し出入國者に對するゲ・ペ・ウ、の監視、取調は非常に嚴重である不可侵條約に就いては蘇聯官憲で盛に日本がその締結を拒否したと宣傳して居る爲め民間に於ても日本はシベリヤ征服の野心を有して居る、故にその條約締結を拒んで居るのだと漸次信ぜられるに至つて居る樣に見受けられた

滿洲經濟事情案內所 頗る好評

關東軍特務部の指示により滿蒙の諸事情を正しく紹介し內地からの資本家を誘導するために生れた「滿洲經濟事情案內所」は新京記念館に事務所を設け十八日から店開きしたが、開店早々千客萬來の盛況で係員は之が應接に忙殺されて居る

訪問者は主として旅行者であるが、どんな商品が滿洲で歡迎されるかとか、果樹園を開き度いが適地を教へて貰ひ度いといつた質問を寄せる訪問者ばかりである又內地からの種々な紹介狀調査依頼狀がひつきり無しに飛込んで來るが同所では滿洲文化協會と聯絡を取り、夫々調査の上滿洲年鑑の編輯者奧村義信氏より懇切な解答を與へつゝあり、機宜を得た施設として各方面に好評を博して居る

四平街混保荷物一掃

（四平街支局發）事變突發以來紀錄的特產出廻を現出して居る四平街驛では、雜穀輸出の激增によつて混保大豆は推貨の山を築きて一般當業者及滿鐵當局に於ても滯貨一掃輸送の圓滑に腐心して居た處、舊正による滿洲國側特產物品の取引中止と撫順炭坑の採炭を休んだ關係に於て貨車廻送頓に增加を來し滿田四平街貨物各係以下の係全員は晝夜兼行大童になつて滯貨の一掃積出に沒頭して居る爲めに一月初旬は數車に過ぎなかつたものが、俄然二十五日に至りては十九車二十六日七十五車、二十七日八十車、二十八日三十九車、二十九日六十二車、三十日四十車、三十一日四十三車を算するに至り、殘存滯貨混保品としては僅かに十車積山九個一車積山四ケを餘すのみに至り、一兩日中には悉皆の輸出を完了するに至つた

露油全鮮販賣權を繞り 岩本 武藤 兩派對立激化
注目さるる成り行き

ソヴエート石油の朝鮮進出は日ましに目覺ましいものがあるのでこれが全鮮販賣權の獲得については各販賣會社共相當

「活躍」してゐたが蔣原末北部朝鮮契約者たる朝鮮商事會社とソヴエート東京通商代表ブロツキ氏及石油全權スホトリスキ氏との間に右販賣權の長期假契約の締結を見るに至つたので同社では既に南部契約者たるロシア石油販賣會社の施設買權契約を行ひ、更に中部契約者たる森油販賣會社に對しても過日來京城に於て岩本社長自ら折衝を重ね施設費二萬七千二百圓で賣買契約が相當進展してゐたところこれに對し丁子屋內の武藤爲吉氏はソヴエート代表部を繞つて激烈な運動が起つてゐるが、そのため商權が果して兩者の何れに落するか豫測されず、

一派が俄然競爭者として現れ前記の價格よりも一萬圓の高値を以て買收すると申出たため、此の交涉に一頓座を來たし、目下朝鮮商事と武藤氏と

「朝鮮」に於ても岩本派と武藤派の對立抗爭が漸く表面化し岩本氏擁護の特約店側は聲明書を發表すると共に近く全鮮特約店大會を開催するといふのでその成り行は各方面から注目されてゐる。

郵便貯金 一月末現在

〔東京一日發聯通〕一月末現在に於ける郵便貯金は
人員 三九、五一六、九九九人
金額 二、六九八、三〇四、一五八圓三八錢七厘にして、前月末に比し人員一五一、六四九人を增加し、金額六、一七七、九二六圓一一錢一厘の減少を示してゐる

新京に於ける一月分小賣物價
―關東廳調査課―

新京に於ける昭和八年一月分の小賣物價を同月十五日現在に依り調査するに其の概要次の如し

一、騰落割合（重要品目二十六種に付算出）
前月に比し一分九厘騰貴
前年同月に比し一割七分二厘騰貴
昭和五年一月に比し指數九二、一即七分九厘下落
昭和六年十一月に比し指數一二四、五即ち二割四分五厘騰貴
需類別に依る指數を示せば次の如し

	前月を一〇〇とす	前年同月を一〇〇とす	昭和五年一月を一〇〇とす
食料品(十種)	101.九	113.八	100.七
調味料(九種)	101.一	105.七	85.0
飲料及嗜好品(八種)	100.0	108.八	86.四
衣料品(七種)	104.八	111.三	86.九
燃料(二種)	100.0	121.一	100.九
總平均(三十六種)	101.九	117.二	92.一

二、騰落品目（調査品目六十種中前月に比し騰落したるもののみ掲ぐ）
騰貴十一種
燐寸（二割三分二厘）
晒木綿（一割五分四厘）
綿ネル（一割二分五厘）
豚肉（一割一分五厘）
金巾 七分一厘
鷄肉（六分八厘）
モスリン（六分七厘）
味の素（五分九厘）
ソース（四分五厘）
煙草ウエストミンスター（二分八厘）
白米無檢査一等（一分五厘）
下落一種
石油（五分）
保合 四十八種

怪人凱歌（百三十五）
須藤鐘一 作　（畫）[illegible]秋方

[illegible]（十七）

隊內は、俄然寂として水を打つたるやう。

會員の誰もが此の[illegible]のプロセスを知つてゐないので、今もやはり豫定通りに進行してゐるものと默つてゐるらしい。

所が、[illegible]を抱きおこした黑影は舞臺の上から見物席に向ひ、[illegible]で何かしやべり出した。

「おい諸君。いくら退屈だつて、する事に事を缺いて、あんまりふざけた眞似をするのは、よしてくれ！」

こんな風に、黑影が[illegible]して來たので、やつと會員のうちには、おや〳〵之れはどうかしてるな！と氣づいたものもあるが、中にはまだ、

「畜生め、人を驚かす氣で、妙なことをやるぞ！」など、默つて、

「それは大變だ！」

「見張り番は何をしてゐたのでせう。あんなものを此の會場に入れると云ふのが抑々けしからんぢやありませんか」

「さうです。實に怪しからんですよ。みんな酒に醉つぱらつて、見張りをしなかつたさうです」

「一たい、あの男は何者です？」

「分りませんな」

「熱血正義團とかいつたぢやありませんか」

「あの黑影、何の意味をもちますか？」

「白鳳のこと、ありますか？」

「むざんの夜風、どうしました」

隊內は騷然として來た。

言葉の通じない外國人が多數にゐるので、斯うなつて來ると、益々始末が惡い。

それまでは一口も言葉を交さなかつた日本人をつかまへて、[illegible]にどうしたのかと尋ねるのである

一層[illegible]を募らすしい者もあつた。

「我等は熱血正義團といふのだ。淫靡極まるフイルムを映寫したり會員相互が風俗を亂したり、それはまだ恕すべきだが、人の子を誘拐し、攫つて來て、こんなお道樂の犧牲にするとは何事だ……」と、黑影は熱辯をふるつて嘲けるのであつた。

「實に言語道斷、由々しき人道問題である。それにも拘はらず、其の筋では諸君の爲すにまかせてゐるのだ。之れは知つてゐても知らぬ顏をしてゐるのか、それともボンクラで事實知らないでゐるのか……現に諸君の罪狀を今日まで默過してゐるのは沙汰の限りである。そこで、吾等の熱血正義團は止むを得ず起つたのだ！」

黑影の熱辯が、こゝまで說き進めて來た時、一層[illegible]めて之はプログラムが順序に進行してゐるのでない事に、完全に氣づいて、[illegible]とした。

「どうもさつきから變だ〳〵と思つてゐたが、やはり之れは[illegible]なことになりましたな」

「[illegible]は何をしてるでせう」

「何でも[illegible]で、みんな縛られてゐるといふ[illegible]ます」

が、日本人の方も一層[illegible]を得ぬので、[illegible]のしようがない。

黑影は、更に[illegible]な調子で、

「おい、諸君！今更騷いでも、もう駄目だ！」と、壇上から叫んだ[illegible]たる聲。

「諸君の上には、天誅が下るのだ。[illegible]犯せる罪に對する當然の報ひと思つて、默つて俺たちのするままになつてゐるんだ。——重ねて云ふが、もうすつかり手配をしてあるから、逃げたり隱れたりしようと思つても駄目なんだぞ！」

云ひ終ると、彼は呼子笛を高らかに吹き鳴らした。

すると、廊下から、舞臺裏から、バラ〳〵と十五人の熱血正義團の團員が飛び出して來た。

それと同時に、パツと電燈のスイツチをひねつたものがあつて、今までぼんやりと夕暮時のやうに薄暗かつた場內が、一時に、眞晝を欺くばかり明るくなつた。

[illegible]者は右手を高くあげて、

「それ！片つ端しから縛り上げろ」と命令した。

團員は[illegible]に、[illegible]にとられてゐる紳士淑女に飛びかゝつた。彼等の片手には、自動式六連發ピストルが、それ〴〵握られてゐた。

三項に亘る修正 代表部に回訓さる

最後の要求貫徹せざれば 四項を默認邁進せよ

(東京一日發國通) 聯盟に對する帝國政府の最後的態度を決定する爲、政府は一日午前九時半より首相官邸に緊急閣議を開き齋藤首相以下各閣僚出席し、外相は緊張の裡に三十一日西園寺公を興津に訪問し、最近の聯盟に於ける一切の經過を報告更に政府の最後的態度方針を開陳し老公のこれに對する意見を求めたるに老公も政府の意見を是認され、更に詳細に亙つて報告し閣僚の諒解を求めた後壽府に於ける帝國代表部に對する外務省成案の回訓案につき愼重協議の結果、帝國として既定方針に基づき邁進する事に決し十時五十分散會した、內田外相は午前十一時半參內 陛下に拜謁、回訓案內容を奏上、御裁可を仰ぎ御前を退辭、午後零時半壽府代表部に回訓を發送したがその內容は政府は貴代表の最後的請訓に對し、元老重臣の意嚮を質せる結果左の三點の修正貫徹に飽く迄努むべし卽ち

(一)日支紛爭處理の小委員會は改むべし

(二)右小委員會は審議起草としてリツトン報告書第九章の十原則全部を採用するとあるを右原則中には有益なる要素を含むと改むべし

(一)決議理由書の末項を聯盟規約不戰條約、九箇國條約等の條約に違反して生じたる領土上の變更はこれを認めずと改むべし

右要求が貫徹されざるに於ては貴代表は第四項の發動を默認し堂々邁進されたし

和協に努力するも 脫退も辭せぬ

內田外相英大使に縷述

(東京二日發國通) 英國大使リンドレー氏は昨日午後五時內田外相を訪問し、聯盟に對する政府の方針を質問した、內田外相は一日發電の回訓を說明、和協の努力を放棄せぬが我國策に反する點は承認出來ぬ、國民の意志がこれを望むならば聯盟脫退も止むを得ざる旨縷述して諒解を求めた

我が誠意を認めるか

こゝ數日が峠

(ジユネーヴ一日發國通) 帝國政府の聯盟に對する最後的表明たるべき和協に關する意志表示は文案出來次第明日松岡代表より事務總長になされるが我代表部はこれは和協が出來る出來ぬに拘らず日本があくまで聯盟に對し忠實だつたことを後々までも印象付けるとの意味であり、その成否は大國筋の實際論と小國筋の純理論との競合ひの結果で決まるものとし、孰れに落付くかには拘泥せず第四項に移れば之を傍觀し報告と勸告纏まり次第內容次第で既定方針に基き邁進するのみだと肚を決めてゐる、孰れとなるかは今曜日の十九人會議までに略々決まる模樣、若し我意見を研究させせば約一週間を之に要すべく顧みれば十九人會議は勸告書起草文に移るのみだ、その分岐點は明日明後日の中と觀されるが滿洲問題審議の峠は[illegible]

外務省辭令

(東京一日發國通)

大使館參事官 東郷茂德
任外務省歐米局長
總領事 越田佐一郎
命バタビヤ在勤
副領事 伊藤憲三
命サイゴン在勤

樞密院また 强硬なる態度

(東京一日發國通) 樞密院では聯盟の成行を重視してゐるが目下の意見は滿洲問題に就ては、帝國不動の既定方針ありこれを曲げるは許す事を得ずとの强硬態度で政府の態度を支持して居り政府より、申出あり次第談話會を開き聯盟經過の政府報告を聽取の意向である

依然たる重荷を負ふ 佛國の新內閣

急進社會黨の單獨內閣

獨逸の政變と相前後して佛國內閣も總辭職し卅一日ダラデイエ氏を首班とする新內閣が成立した、前ボンクール內閣は昨年十二月十八日エリオ氏の後を享けて組閣されたのであるから正に一ヶ月と十日間の運命であつた、然しそれが佛國にあつては敢て珍らしくない、確か首相を六七回やつたこともあるブリアンであつたと思ふが僅かに五日內閣といふのがあつた同時にそれ程佛國に於ては內閣が頻々として更迭されるので昨年一年だけでも第一次ラヴアール內閣が一月十二日總辭職し同十三日第二次ラヴアール內閣成立二月十六日ラヴアール內閣總辭職しタルデユ內閣が成立、五月十日にはそのタルデユ內閣も沒落し六月四日エリオ內閣が成立、而してエリオ內閣も十二月十四日戰債問題から挂冠して前ボンクールに內閣を明け渡したといふ有樣で五代を閱してゐる

□

エリオ內閣が倒壞したのは對米戰債支拂承諾案を下院が否決して結果であるがボンクール內閣が投げ出したのは赤字補塡案が否決された爲である、エリオ內閣の倒壞は對米戰債を拒絕することによつて佛國の意氣は示したかも知れないが結果は唯徒らに米佛關係を惡化せしめたに過ぎず佛國財政それ自身には何等の改善を示さなかつた卽ち英國が米國の主張たる別個的交涉に應じて近く代表を米國へ送り戰債の緩和について折衝を開始し世界經濟會議の開催以前に何等かの解決方式を發見しやうと云ふ所まで進んで來たに反し佛國は戰債それ自身は全くデッドロックに牽着しボンクール內閣も殆ど手の附けやうがなく十億法の大赤字に對しても矢張り直接間接兩稅に亙る一般增稅と恩給減額による外なく殆ど全くなすところなくして明け渡すこととなつたボンクール內閣は與黨たる社會黨と急進社會黨との間に意見が岐れ急進社會黨が內閣の豫算案に反對の投票をした結果贊成僅かに百十三票卽ち社會黨丈けの票數といふ慘めな末路を見せたので、その當然の結果としてエリオを首領とする急進社會黨がその後を引受けたのである、新內閣は全部急進社會黨員であるといふから首領エリオこそ入らないが、前々內閣たるエリオ內閣の延長とも言ふべきものでその政策も當然昨年十二月半ば以前のそれに還元されるであらうと思はれる、從つて對外的には對米戰債に對して何等かの米國の諒解を得るに足る方策が講ぜられる事になるかも知れないが議會の全般といふより寧ろ急進社會黨が提携乃至政策協定を遂げやうとする社會黨以外の他の黨派と如何なる程度に諒解が出來て單獨內閣を組織したかが問題であるが然し此の點に關して外電が何等報じて來て居ないので從つて內閣の運命も全く豫測か出來ない、いづれにしても十億の赤字とその上に期限の切れた對米戰債を負ふて居る以上何れの內閣が出て來やうとも適當なる運用の方法は見出せそうにない、最後に外交問題、新に對聯盟對日本及び對滿洲國問題については別段急激の變化はなく大体に於て現狀維持であらうと見られる

佛新內閣顔觸

(パリー卅一日發國通) 今日決定せる新フランス內閣、閣員表は左の如くで全部舊新社會黨員である

首相兼陸相 ダラデイエ
藏相 ボンヌ
豫算相 ラムルー
外相 ジヨゼフ・ポール・ボンクール
內相 カルミ・ショータン
法相兼副總理 ペンナンシー
商相 セール
勞働相 アルベール・サロウ
工部相 パガノン
航空相 コツト
海相 ジヨルジユ・レーグ
海事相 フロー

聯盟に對しては 微溫的態度は不可

反對宣言、反對投票をも行へ

(東京二日發國通) 聯盟規約第十五條第四項による報告書の內容は略々判明したが勸告案は全く不明であり、例へばリツトン報告書の第九章及第十三章の原則並びに提案の趣旨の範圍外に出る事なしとするも

一、滿洲に於ける支那の名目的主權を承認し支那政府の任命する最高委員のもとに廣汎な自治權を與へる

一、從つて滿洲國の現政府は否認され解消すとの滿洲自治領案が採用される事は確定的と見られるが右の如く滿洲國否認の意志を表示する場合は政府では二月十一日その他の樣に反對宣言をなすのみでは勸告案の成立を默認する事となり我が對滿政策と違反するので政府では右の如き微溫的、態度を止め總會席上で反對宣言を行ふと共に斷乎反對投票せよとの意見が外務省內に有力となつた

外相秘密會で 政府の對策を說明

(東京二日發國通) 下院豫算總會昨日午後の秘密會で、內田外相は聯盟經過と政府對策を左の通り述ぶ

滿洲國の獨立と其の承認とは各國に承認さるるを滿洲問題の根本とし、末節に就いては讓步するも前途尙容易に斷定出來ない、第四項に據るも滿洲國の獨立を否認したる決議なさせば、最後の決意を堅持してゐるが、其の場合の態度は勸告內容の如何により決定する

衆議院での 對聯盟態度の表明

政府愼重に

(東京一日發國通) 政府は聯盟に對する態度を衆議院に表明する方法に就き一日の臨時閣議で協議の結果聯盟問題は事の性質に鑑み頗る愼重にこれを取扱ふべきである現在の如く政府の最後的斷案が決定を見ざる時期にこれを公表することは却つて政府の外交方針に不利の結果を及ぼすやも計り難いと言ふ理由に依り若し衆議院豫算總會乃至本會議で議員より質問ありたる場合は過般首相の豫算總會で答辯した「未だ發表の時期でない」といふ答辯を以つて押通すことに方針決定した

露國大使館 一先づ上海に開設

大使は近く來任

(上海二日發國通) 駐支露國大使は近く來任することとなつて居るが大使館は各種の便利を考慮し少時上海に置くこととなつて居る、之が爲め先發の警官隊約三十名は既に到着露國居留民會內にて各種の準備を整へ[illegible]となるが本月十日より正式に業務を開始する筈である、露支國交斷絕と共に獨逸領事館が管理して居た上海の前領事館家屋は露國通商代表に引渡しを終つたので大使館事務所として同所を使用するものと觀られてゐる

野村主事 挨拶に來社

新京地方事務所社會主事野村茂理氏は新任挨拶のため本社來訪

外人の來滿者激增

事變直後は匪賊の橫行に危險を感じて諸外國人の滿洲旅行が數へる程しか無かつたものが最近日滿聯合軍の活動による匪賊の解消の結果昨年十二月に二百二三十人に增し本年に入つてよりは一月中四百余人に激增してゐる、旅行目的は上海方面の外商が販路調査に來る者が多くこれを國別にすれば一番多いのは露人で米國、英國、獨乙、佛國、波蘭、チエツコ、ギリシヤ、スイス和蘭の順序である

北滿の商況 頗る活氣を呈す

(ハルビン一日發國通) 昨春來匪賊の橫行による取引の沈滯で極度の不況に陷り加ふるに大洪水で大打擊を受けた北滿の支那商人は舊正月の決濟期を控えて相當破產者を出すであらうと豫想されて居たが事實は之に反して決濟も圓滑に行はれてゐる、これは皇軍の掃匪により北滿の交通が開かれ地方產物の出廻りが活況を呈し從つて物資の需要も旺盛となり目先取引好景氣を來した結果であるとに伴つて最近特產物の輸送活潑となると共に物資の輸入商談極めて盛んでとりわけ圓安關係で日本商品の輸入を目的として直接取引を開始せんとする支那、露[illegible]

交通政策は 關係國と共力が必要

―丁交通總長會見談―

丁交通部總長は一日午後二時より總長室に於て記者團との會見に於て交通政策其の他に關し約二時間に亙り會談を遂げたが、滿洲國の交通政策に關しては他の諸政策と同樣

=同樣= 總て滿洲國一國のみの利害關係を以て決定さるべきではないので、矢張り日本の援助も受け協力もし、又隣邦蘇、支との關係も考慮しなければ結局完全な政策を建てることは出來ない、卽ち例へば自動車網、鐵道網を敷くに就ても隣邦との連絡關係等を考慮して立案して居る樣な譯である、河川、陸上の交通機關に關しては國營の方法もあるが速かに之が完成を期する爲には矢張り資本家の手に依り技術的、地理的關係も考慮しやらせる方が良いと考へる小さい交通部關係の計畫等に關しては種々なる案を立案中であるが、之等に關しては大綱の決定を見たる上は自分等の手に依り是非やつて行きたいと思ふ、左樣すれば國民に自重の心持を湧かしめ、自然に政府と國民との間に離れることの出來ない感情を生ぜしめる事に成ると思ふ、等々大は滿洲國の國策より、小は一交通機關の缺陷に對する所感まで忌憚なき意見を吐露し

=吐露= し更に丁總長の駐日大使說については自分は未だ何等の話はないが、若しも自分が駐日大使として赴日することが日滿兩國の爲になるなら喜んで行くが、自分より未だ人格識見共に優れた人が居るからさういふ方に御願ひしたいと思つて居る、日本の新聞に書いて貰つたので日本から電報や手紙が旺んに來る「新聞辭令有難う」とのみ總てを笑ひにまぎらし大使說を否定した

東京米穀取引所 一日より人絹上場

―非常な活況を呈す―

(東京一日發國通) 東京米穀取引所の人絹上場が本日から開始され出來高三千七百十萬順の活況であつた

(東京一日發國通) 衆議院豫算總會第六日は午前十時三十五分開會、國務大臣は緊急閣議のため出席せざるも前日に引續き津雲國利氏質問を繼續し、堀切法制局長官との間に細々と明糖事件につき質問應答を重ね官規紊亂の極みであると極論して小山谷藏氏と代り小山氏も明糖脫稅事項は政治上、社會上、思想上の重大問題であると首相の出席を待つて答辯を求める事となり十一時四十分休憩

(東京一日發國通) 衆議院豫算總會は午後一時十二分再開先づ政友會の宮澤裕氏思想問題で質問

治安維持法が行はれてから之に觸れる一萬余人の容疑者を出して居る、而も司法部內から共產主義者を出すに至つたのは國民の司法當局に對する信賴を失墜するの甚だしいものがある、前代未聞のこの不祥事件に就て首相は如何なる責任を取らんとするかと質し

首相 目下取調べ中の事であるから責任問題は問題の終了を待つた上で考慮すると答へ

宮澤氏(政) 國民的思想統一政策に關して執拗に質問を續け、次いで

島田俊雄氏(政) 本日の貴族院豫算總會に秘密會を開いたとの事であるが、政府は本豫算總會に於ても秘密會を約束し、右に關する發表を爲す意志ありやと政府の所信を糺したに對し

首相 本日聯盟問題報告のため特に貴院に秘密會を要求したのではないが、此の問題に就てもある程度の[illegible]

[illegible]の所見を糺し拓相簡單に答へ午後六時廿分散會した

貴院豫算總會

(東京一日發國通) 貴族院豫算總會は一日午前十時十五分開會、正副委員長互選の結果左の如く決定し會議は各大臣が閣議出席中の爲め一先づ休會し委員長柳澤保惠伯、副委員長大井成之男

(東京一日發國通) 貴族院豫算總會は午前十一時二十五分再開、七年度歲入歲出豫算追加、七年度歲入歲出各特別會計豫算追加兩案を議題とし審議を進め次いで滿洲問題に關する政府の詳細なる說明を聽取する必要を認め前田利定氏から秘密會の要求あり直ちに秘密會に入り陸相より匪賊討伐に關する軍事行動の狀況並びに日滿議定書の規定による兵力の內容、交通問題、熱河問題其他に關し詳細なる說明あり、これに對し各委員と質問應答を重ねたが右秘密會終つて直ちに公開會議に移り右滿洲事件費討論を省略して卽時可決午後一時十分散會した

鷲籠

□リンドレー英大使、頻りに內田外相を訪ひ、我が方針を質す、日英同盟を放棄したるを今更に恥じざるや

□王道の國大滿洲國、建國一週年の日迫る、討匪なり、治安すゝみ、日滿の親善愈よ深からんとす、いざ手をとりて大亞細亞聯盟の彼岸へ

□高山新京警察署長、當局に對する非難漸次熾烈なるに鑑み漸く緊張、その意氣をもつて首都の護りに當るべし

□新京旅館組合、旅行者のサービス改善を謀す、遲蒔きながら心づきたるは宜し、百尺竿頭一步を進めて客室の改善に着手する、更に宜し

ラジオ欄

三日(金)

奉天局五、〇〇 レコード 鐵行 金銀相場商業通信社
新京局五、二〇 演藝
新京局五、四〇 講演
東京局六、〇〇 ニュース 東京中央放送局編輯
新京局六、二〇 時事解說 (滿洲語)氣象豫報及滿洲語ニュース
新京局七、三〇 ニュース (英語)
新京局七、四五 ニュース (露西亞語)
新京局八、〇〇 ニュース (朝鮮語)
新京局八、一五 ニュース 氣象豫報放送局編輯及プログラム豫告
東京局八、三〇 時報
東京局八、三一 ニュース 東京中央放送局編輯

人事往來

▲人見大佐(第〇〇隊)一日午後三時三十五分來京
▲高見中佐(步兵第四十聯隊)同上
▲澤田少佐(第〇師團司令部)同上
▲李文龍氏(吉林鐵道守備隊第一支隊長)同上
▲阿比留滿洲國總務司長 一日午後四時歸京
▲大田原法務部長(第〇師團)一日午後四時三十分南行
▲荻原少佐(獨立守備隊司令部)同上
▲昌川主計氏(滿洲國監察院弁代理)同上
▲王琨氏(吉林騎兵第一旅長)一日午後四時三十分吉林へ
▲賓麟氏(吉林步兵第一旅長)同上
▲張亞東氏(中東鐵路駐東辦事處長)二日午前八時四十分ハルビンへ
▲林警務局長(關東廳)二日午前九時南行
▲李壽山氏(安東警備司令官)二日午前九時南行
▲多田少將(滿洲國最高軍事顧問)二日午前八時來京
▲三浦中佐(關東憲兵隊司令部)二日午前八時三十分吉林へ
▲西尾少將(參謀本部)同上
▲宇佐美寬爾氏(ハルビン事務所長)二日午後四時三十分大連へ
▲南京新京地方委員副議長三日大連へ

大アーチを設け 日滿學生の旗行列
執政溥儀氏もラジオ放送
せまる建國記念日

新京市政公署では來る三月一日の滿洲建國一周年記念日に際して大々的に慶祝を擧行すべく、二日午後一時より同公署會議室に於て第一回警備委員會を開催、具體的な慶祝方法を決定するはずである、大體に於て昨年の建國慶祝大會にならひ厳かなる式典並びに祝典を擧行する外七馬路及び四馬路に大アーチを設け全市日滿學校生徒の旗行列を行ひ大氣勢をあげることゝなつて居るが溥儀執政も當日の記念ラヂオ放送に際しラヂオを通じて慶祝の御言葉を全滿民衆に傳へらることゝなる模樣である

五色の波が
「全滿を壓しやう」三月一日一齊に國旗デー

滿洲國では來る三月一日の建國一週年記念日を國旗デーとし王道主義のシンボルたる五色旗の意義を三千萬民衆に徹底せしむる一大愛旗行進を全國的に擧行することに決定した、即ち五色旗の黃は民族の大同團結と樂土を表し、赤は熱誠、藍は溌剌たる清新の氣、白は純潔公平無私、黒は鐵の如き堅固なる意思を表現し此の內外的に多事多端なる秋にあたり國民は國旗の示すが如き人類至高の理想を目指し而も現實に即して建國の大業を完成せねばならぬと言ふのが國旗デーの持つ使命であつて近く百萬本の國旗が全國隈なく配付され當日は時ならぬ五色の波が全滿を壓するものと見られてゐる

東鐵東部線
列車運行增加

【ハルビン一日發國通】中東鐵東部線は我軍の討伐で平靜となり、列車は支障なく運行しつゝあるが、一昨三十日から一週五回運轉に增加され、當地よりは日、火、水、木、土、ポグラよりは月、火、水、金、土發車する發時刻は從前通りである

入學考査
三月七、八兩日一齊に擧行

可憐な兒童達の小さな胸を痛める中等學校入學考査の日があと一ヶ月の先にせまつて來た、滿鐵設立の州外各中、女學校、商業學校の十校は三月七、八日兩日に亘つて一齊に入學考査を行ふことになつたがこれは一人の志願兒童が二校も三校も受驗すると云ふ餘分な負擔を除き、同時に第一志望校にはづれても第二、第三校に[illegible]るやうにと云ふ學務課當局の行屆いた主旨に外ならない、懸案中だつた新京中學校設立の件も意外に早く進捗して愈々第一回約百名を募集することとなつた、新京の室町小學校、西廣場小學校の兩校の上級學校志願兒童は左の通りである

△室町尋常高等小學校
新京中學　三十三名
新京商業　六十六名
新京高女　六十二名

△西廣場尋常小學校
新京中學　二十四名
新京商業　二十一名
新京高女　三十一名

となつて居り從前中學志願兒童は奉天、鞍山若くは旅順あたり迄行つたのが、本年は全部新設の中學校に入學出來るわけだ、尚ほ州外各中等學校募集數は

新京中學　約百名
奉天中學　約百四十名
鞍山中學　約九十名
安東中學　約九十名
撫順中學　約百名
新京高女　約九十五名
奉天高女　約百五十名
安東高女　約九十五名
撫順高女　約九十五名

因に入學願書提出期限は二月十五日迄である

傳染病地滿洲一の汚名を雪ぐ計畫
一日關係者相會し決定

滿洲第一の健康地として誇り得る新京も衛生設備の不完全と市民の衛生觀念にとぼしい結果滿洲一位の傳染病發生地としての汚名を一掃すべく、一日午後一時から新京署、地方事務所係員及衛生係員は消防隊に於て衛生事務打合せを行ひ種々と意見の交換をなし午後四時散會したが、今後は特に左記事項にもとづき大々的取締をなし若し違反者のあつた場合は公衆衛生の爲相當の犧牲者をだすもあえていとはぬと固い覺悟を持つてゐる

衛生事務打合せ事項
△店舖並に家屋前、側溝、道路面清掃方を督勵の件
△所有者無き空地其他の空地に塵芥、建築材料、土石等投棄しあり自今取締の件
△路側雨水構に汚水及び汚物を投入する者多多あり之が取締の件
△全市民に對し毎月一回定例日を定め清潔デー實施の件（市街の清潔を保持すると共に傳染病豫防の一端としたし）
△塵芥箱は可成庭內に位置せしむるを原則とするも不止得路側に置くものは整頓せしむる件
△塵芥箱、便所、上水、下水の設備無き者には設備方を勸誘すると共に其の住所氏名簿を作製すること新設せば月日を記入すること
△不潔々は所二月より清掃に着手すること
△上下水敷設費を研究すること
△掃除人夫は百四十人に增員せしめたるを以て此際一層督勵すると共に糞池蓋を確實に閉せしむる樣注意すること及び糞池塵芥箱等を破損せしめざること
△全市民に對し右事項實行を記載せば注意書を配附の件
△次回保健防疫事項に付打合せ致度に付請願提出願ます
△各戸の地先道路は毎願且居住者所有者又は管理人に掃除をなしうる事

奉天の某國總領事館
滿洲擾亂援助か
滿洲國有力者いきり立つ

【奉天一日發國通】在奉天の某々領事館が張學良の滿洲擾亂陰謀の足溜りとなつてゐるとの說あるが、殊に某國總領事館は露骨に反滿運動を爲し、資金の中繼、情報の供給をやつて居る形跡あり、本國政府に警告せよと滿洲國の有力者は敦圍いてゐる

雪の巻(五)

(雪の巻)イチロ作

タイヘン アノオウチ トシヨウトツスル
ウワアー ショウトツ
ダダレダッ
コレハドウシタコトダア
？

遊戯場許可を種に滿人から三千圓騙取
大連から流れて來た邦人逮捕

福岡縣直方郡下境田一ノ二八前住所大連沙河口元町二四七上原重(三三)は昨年十二月中旬來京し吉野町二ノ九に止宿してゐたが、同人は昨年末市內西四馬路に支那家屋を借受け、大連東子町李緒君を僞はり同家を滿洲一の大遊戯場にすることに決定し、既に滿洲國新京首都警察所保安係で許可されたから、權利を讓り渡す故權利代償として三千圓を出せもまんまと三千圓を騙取し、なほ落成後の上り高は步分だと稱し同人は日本橋通料亭永樂に流連豪遊中を不審とにらんだ城內憲兵分遣所員が探知し、逮捕し取調べた處、遊戯許可なとは眞赤な僞はりと判明、二日身柄を新京總領事館警察署に移送留置し取調中である

賭場荒しが六百十圓强奪
昨夜三笠町通りで

一日午後九時半頃市內三笠町四丁目賀尾向岫生方へ拳銃を所持する二名組の强盜が押入り家人を脅迫の上吉林大洋及び國幣取まぜ六百十圓余を强奪逃走したが被害者は當夜マーヂャン賭博をなしてゐた模樣で犯人も賭場荒しの專門の賊らしいと

東公園の强盜

一日午後六時半頃吉林省永吉縣三區五里生れ新京東六條通決發信事舖揚文(四二)が東公園附近を馬車で通行中一人の滿洲人が現れ、如何にも所用ある如く呼び止め有無をいはせず身体檢査を行ひ、韓が所持してゐた國幣十四圓餘を拔取り、東五條通から祝町交叉點西方へ向け逃走した、なほ被

滿洲名物の『蠅』
撲滅の完璧を期す
新京市政公署の大計畫

新京市政公署では鋭意首都としての衛生設備に全力を擧げ大同二年度に於て上水道の擴張並に下水道の新設、整理を

『斷行』

すると共に一般公衆衛生設備の完璧を期し目下その根幹をなす衛生施行規定の立案を急ぎ懸案たる市立病院の實現を期して居るが。同公署衛生科の調査によれば昨年末現在新京城內戸數は長通路區六千八十九戸、南關區三千七百九十一戸、四道街區五千十八戸、大綿路區四千四百五十三戸、計一萬九千三百五十一戸、人口推定約十二萬に對し衛生費甲額は僅かに三萬餘圓に過ぎず、塵埃運搬自動車二台、馬車八輛では到底廣汎なる城內に於ける塵埃の處理は不可能なので新たに自動車三台、馬車二十輛を增設して完全なる塵埃運搬を行ふことに決定し積極的な傳染病豫防策として三月上旬城內居住者全部に對し種痘を施行、

『更に』

徹底的に滿洲名物の蠅驅除法として全市塵埃溜の藥品消毒を行ふなど特別市としての衛生的面目を一新することとなつた、

旅行者に不快な感じを與へぬやう
旅館組合總會で決る

新京旅館組合では三十一日料亭千鳥で春期總會を開催し會長、副會長、役員の改選を行ひ旅客取扱に關する協議をなした、今回同組合では旅行者の便宜を圖るを目的とし、先づ案內事務所を設け專任事務員を置き、團体旅行者の宿舍割的その他案內等を敏活にし旅行者に對し不愉快を抱かさないやうつとめることゝなつた、同事務所はツーリストビユーローに設置する模樣であるなほ新會長以下役員は左の如くである

組合長　富士屋旅館　五味武太郎
副組合長　新京旅館　西村淸兵衛
會計　吉田屋旅館　光永重祐
評議員　常盤旅館　相原楚一
同　西村旅館　大久保繁太郎
同　大丸旅館　寺崎竹次郎
同　北陽旅館　岩吉末松
同　大和旅館　大道熊一
同　松屋旅館　中村熊吉

新京街頭風景(F)
不粹な話
藝妓の試驗に等級制とは
實際ならゴテゴテの種

新京街頭風景の一つ、道行く藝者さんたちの顏色がよくない、もちろん夜ふかしにふか酒、それから〱さ建康保持の條件に相反した稼業であるから顏色のよくなくなるのはあたりまへです、然し特にこの酉姐さんたちの顏色がよくないのは何か譯がありさうだと、その道の人に訊ねてみたら

× × ×

そりやア譯があります、例の試驗問題でさア、これ迄は何でも彼でも少し稅金さへ餘方に納めれば藝者でございますですましておられたのが、技藝試驗といふのにぶつかつたのだから、心配も起りませうし顏色もよくなくなつたのがあるでせう

× × ×

一方只藝妓の向上發奮を促し、藝妓の名あるが故に花代の不當利得をしてゐる輩を排除する意味に於て設される今度の企ては誠に結構なことだが、その方法があまりに堅苦し過ぎるやうです

× × ×

殊に試驗の結果が一、二、三等か或は甲乙丙とかの等級をつけるとかの話ですが、これやア大問題です、試驗場には委員と受驗者の外は入れないさうですけれどこんなことは洩れ易い、誰知惠か知らないが新京花柳界紛擾の種を蒔きつけたやうなものです

みてゝごらんなさいこの藝妓の等級のために同じ家の棟の下に住むものにいがみあひが出來ますよ、三人寄れば姦しいと云はれるのが十人二十人と寄つたら只さへ統制に骨の折れるところをゴテゴテの眞火線に火をつけて抛り込むやうなものです

× × ×

こんな不粹な發案者の顏が見たい、城內では極めてくだけた態度で、在來のものは其儘新規出願者は試驗をする、だが在來の人々にも藝道の研磨は懇望すると粹な話を聞きました云々

大正寺の開運星祭

市內曙町四丁目大正寺では三日午後一時から鎭守豐川稻荷眞前に於て開運厄除星祭の祈禱あり、參詣者には危除御守り授與、福豆及び餅撒等あり一般の參詣者を歡迎すと

在滿部隊將士に感謝決議

朝鮮木浦第二回府民大會では在滿部隊將士が嚴寒と鬪つて國の誠を盡しつつあるを感謝する決議をなし、本一日武藤司令官宛其の決議文を打電して來た

協和會事務局十五日頃移轉
中央通り三盛ビルへ

協和會中央事務局は諸機關新京移轉後も奉天にあり、新京移轉について準備中であつたが中央通りに日夜兼行で建築設備中の三盛ビルも完成したので來る十五日頃全部新京に移轉することゝなつた、新中央事務局は同ビルの二階三階全部を使用する筈である

滿洲國官吏と家族に汽車汽船割引
二月一日から實施 但し證明書が入る

滿洲國官吏並に同家族が大連經由大阪商船で內地旅行の場合證明書携帶するものに限り大阪商船一割五分、滿鐵當給二割を割引することに決定し二月一日から實施した

二十四列車遲延

一日午後九時二十五分頃龍江發奉天著第二十四列車が龍江驛構內で入換へ作業中、客車一輛脫線一時間の遲延を見た原因はヒーターブレーンから水が漏れ線路に凍結したものである

長距離飛行
下志津奉天間 三機奉天へ

【千葉一日發國通】千葉縣下志津奉天間一九〇〇キロ長距離飛行決行の爲め陸軍下志津飛行學校田邊少佐以下六勇士は一日午前八時八八式偵察機三機に分乘し爆音勇ましく銀翼を連ね、一路奉天に向つて飛去つた、途中太刀洗、平壤の二個所に着陸し三日正午頃奉天著の豫定である

小學校入學者身体檢査

新京室町、西廣場兩小學校の新入學兒童に對する入學者身体檢査を左の日程で各校講堂で行ふことになつた

十三日、十四日　室町小學校
二十日、廿一日　西廣場小學校

兩日とも午前九時から正午迄同午後一時から三時迄の間に行ふ、保護者は特に時刻を注意されたいと

節分式典

二日午後七時より新京神社に於て節分の式典が催されるが式次は次の如くである

一同參列、拔式、開扉、獻饌、祝詞奏上、玉串捧奠、撤饌、閉扉、直會同二十分終了の豫定である

花街
酒豪笑千代

去年四月中旬、八千代館で何だつたか忘れたが大きな宴會があつた、その頃來たばかりの此寶眞の奴と半千代、新妓さなると眼の色を變へて騷ぐ新京人士が引ッ張り凧だ、名は名と？、どこから來た？、年は？とうるさいやうな質問に、あたし京都、直輸入よ、あら京言葉でないのは育つたところが違ふからなの、でも御安神下さい純粹の日本人なのよと應答流るゝが如く、頗る朗らかだつたのも記憶に殘つて居ります間もなく一月になるが今や八千代ではやり妓の一人、お酒も强よければ若さもあるから、それからほがらかであるからなんでせう、お酒で云へばウイスキーの一壜ぐらひペロリと平らげてすました顏をしてゐるさうです、然しその後が往々にしてシャクがさしこむこの介抱をしたいものはうんと吞ませるべしです

吉凶禍福

出生(一日屆)
△羽衣町三丁目二五ノ四宮內盛雄氏文雄一月二十日出生

凄艶紅涙双（一九六）

鈴木彦次郎作　飛鳥久緒畫

「お城には火が上つた。」
「河井様、立のかれた！」
「長岡の守りも、もうこれまで！。」
悲痛な叫びは、西軍の勝ち誇る歡聲の間に、痛ましく飛んだ。
必死となつて防戰してゐた先鋒隊も、今は、全く力も盡きた。
「引け！引け！」
「再擧を計れ！」
各隊長の涙にむせぶ號令！
血みどろの藩士は、歯をくひしばつて、止むをえずぢりぢり退いた。
だが、藩士のうちにも、なかなかこの退却命令に從はぬ、剛情我慢の烈士があつた。
中にも、大砲隊長伊東道右衛門などは、六十二歳の老軀をひつさげ、甲冑刀槍、悉く父祖傳來の品で身を固め、死を決して、城下の土手を守備してゐたが、すでに腹背敵を受、もはや、退路を絶たれやうとしたので、部下は、重臣達の號令に從ひ、陣知をすてゝ、退却したが、道右衛門獨りは斷じて、一歩もひかず。
「この大切な場所を、一人も死ぬ者もなく、敵にむざむざ奪はれたとあつては北越男兒の恥辱ぢや、そちどもは、まだ若い、空しく命を棄てるにはおよばぬから早くおちのびて再擧をはかるがいゝ、俺は餘命いくばくもない老の身、長岡藩の名譽のため、潔く死なしてくれッ！」
と、叫びながら、引きとめる袖をはらつて、得意の長槍をしごき、憤怒、むらがり寄せる西軍の眞ッ只中に、突進した。
「エイッ、邪魔致すな」
氣負つた西軍の先陣、忽ち從子ぞろへて、道右衛門を押ッとり卷いた。
だが、決死の老雄、意氣、愈々鋭く、大喝大聲、槍をふるつて、たちどころに、四、五の若侍を突きたふした。
そのけなげな武者ぶりに、西軍の隊士は、悉く眼を見張つて驚歎したがそのうちにも道右衛門は、益々猛り狂つて縦横無盡になぎ倒し、彼一人のために、暫く進路をさへぎられるのであつた。
「惜しむべき老壮士だ、だが戰機を失つては一大事、止を得ぬ思ひきつて撃ちとつてしまへッ」
部將堀濱太郎は、慨然として云ひ放つた、その聲の下から銃聲一發！「ウワァー！」
さすがの老雄も、狙ひ誤たず飛びきたつた銃丸にはかなはず、咽喉を貫かれ血しぶきあげてのけぞつた。
高野秀右衛門、七十餘の老人しかし、今は、隱居の身であつたが敗報を聞いて、激奮家人の諫めもきかずに躍り出て邸内の堤上に踏み止まり、十匁の和銃をとつて、勇敢に防戰をつゞけ、長州兵十數名を狙ひ倒して、散々になやましたが、つひに流れ玉にあたつて、壮烈な最後をとげた。
更に悲壮を極めたのは、村松清太夫だ、清太夫は、中風にかゝつて、歩行も自由にならぬ身であつたが、西軍迫るを聞いて、悲憤の形相すさまじく、秘藏の陣羽織を着て、痩軀を杖に、よろめく足を踏みしめながら、敢然、町角に立ちはだかり、寄せ來る敵兵を片端から斬りすて、血ひさめてゐたが、進退まゝにならぬ身の悲しさに、殆に亂刄の間に、むざんな死をとげた。
——だが、名をおしむ烈士の死闘も、つひに、大勢を支ふることはできなかつた、北越の雷鎖として西軍の進路に巍然として控えてゐた長岡城も今や、僅かに、燒け殘りの櫓が、渦まく黑煙りのうちにほの見えるばかり。

けふの運勢　二月三日

舊正月九日　金曜　庚子　先負　閉　鬼宿

●一白の人　心を落付け金融上に間違なきやう注意の日　申と庚と丑が吉
●二黒の人　感情の衝突を避け心を寛大に持たるゝが吉　申と壬と癸が吉
●三碧の人　快く物事運び行きて利益も名譽も全きを得　乙と丙と辛が吉
●四緑の人　無事を祈り口舌訴訟の起らぬ様注意すべし　甲と辛と丑が吉
●五黄の人　自己の意見のみを通さんとせば失費多き日　丁と坤と亥が吉
●六白の人　見込を立て堅實に働く時は大吉の日となる　乙と丁と申が吉
●七赤の人　吉運の日なれども飲食の為病に犯さる注意　丁と乾と壬が吉
●八白の人　岐路に迷ふ事ありて成功の機を逸す堅實吉　申と壬と癸が吉
●九紫の人　外に在りては利得薄し内を守るが安全なり　辰と辛と丑が吉

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

定價 一部 金三錢 一箇月 金八十錢 郵稅 一箇月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠 編輯人 松本男 印刷人 谷藤二郎

最後回訓に接した我代表部緊急協議
最後の活躍を爲すべく研究 重ねて首腦部會議

〔ジユネーヴ一日發國通〕日本政府よりの最終回訓は一日正午三通に分れて到着したがホテル、メトロポールの我代表部は俄然一大緊張を呈し、松岡代表は直に自室で松平、佐藤、長岡三大使と重要協議に入つたが、首腦部會議は午後零時半より一時半過ぎに到る迄一時間餘に亘つた、審議の結果本國政府の最終訓令に基き代表部は滿洲國否認條項の削除乃至本年二月を期し三項による和協手續きを達成すべく最後の活躍をなすことゝ決した、但し其の實行方法については重ねて首腦部會議を開いて研究を爲すことになつた

軍縮會議全權引揚は愼重考慮の上
我が代表部に內訓

〔東京二日發國通〕政府は一日聯盟に對する最後の決意に關する回訓を發したが、これに關聯して一般軍縮會議に關する對策についても外務、陸海軍各關係當局間で愼重考究した結果愈々我代表が聯盟に於て最後の決意を執ることゝなつた場合は軍縮會議に出席してゐる松平、永野海軍、建川陸軍全權代理以下隨員全部をも同時に引揚げを命じ更に今後同會議に非聯盟國として參加するや否やは改めて情勢を見て愼重考慮して決することに方針を決定したのでその旨我軍縮代表部に內訓が發せられた

松平大使歸任 ロンドンで側面運動

〔ジユネーヴ一日發國通〕松平大使は一日午後十時十分發歸英の途に就いた、サイモン外相も當分ジユネーヴに來ない模樣なので倫敦に於いて側面的接衝に當る筈である

一日の起草委員會

〔ジユネーブ一日發國通〕本日午前十時四十五分より開かれた九國起草委員會の審議は前後一時間五分に亘り、午後十一時五十分會議を終つた、本日の會議では報告書第一全文第二事實の叙述、第三結論の部分の審議を終り、十一條問題の所謂常該紛爭の事實を述べる部分の起草を完了した、但し報告の第四部を構成する公正且つ適當なる勸告の部分は本日の會議では審議されなかつたが、多分來る三日十九國委員會の本會議で起草完了した部分の承認を經、更に勸告につき支持を求める豫定でそれ迄は九、起草委員會は正式に勸告の部分に觸れぬことゝになつた

勸告案の作成
當面中心問題か

〔ジユネーヴ一日發國通〕起草委員會は第十五條四項に基く報告書の前年部分の起草を完了今や問題は報告書の中心たる公正且適當なる勸告案の作成が當面の重大問題となつた十九ケ國委員會の本會議は果して豫定通り三日に開かれるか否かに關して多少の疑問がある、三日午前十九ケ國委員會が開かれれば、直ちに勸告案を審議し四日の本會議では報告書全文の最終審議に入ることゝならう

滿洲國に對し赤化の魔手延ぶ
有力なる宣傳員潛入す

露支國交回復と共に第三インターの支那內部に於ける工作は俄かに活潑となりひいて滿洲國に對しても赤化工作を積極的に働き掛けて來た日露不可侵條約の停頓せるは日本の對蘇外交の重點を蘇國侵略に置くものと勝手に解釋して北滿に於けるソビエツト權益擁護並に日本勢力の伸展阻止の一對策として今回の露支國交回復に伴ひ支那に於けるコミンテルンの活動自由となるを機とし滿洲國の攪亂を企圖し第三インターを根幹として中國共產黨を利用し既に有力なる宣傳員を滿洲國に潛入せしめ宣傳文の搬送等色色技巧を凝し只管日滿官憲の嚴重なる監視を免れんとしてゐる

前途洋々たる在滿朝鮮人農民
堂本總督府事務官談

滿洲における鮮農問題につき總督府派遣員主席堂本事務官は大要語る

最近朝鮮人の思想問題といふことが大分八ケましいやうであるが滿洲における朝鮮人中には北滿地方に相當不良分子が入り込んでゐるため、大多數の善良な朝鮮人までが不逞の如く誤解され易いことはまことに遺憾に耐へない、また滿洲建國以來我が國は日滿親善に努力して最近朝鮮人問題を稍々もすれば閑却したかの觀さへみへるやうであるが、勿論外に日滿親善も大いに必要であると同時に、內に朝鮮人問題もわが國にとつてはまことに重大事である、殊に在滿鮮農問題に至つてはわが國の滿蒙開發の上によつて過去に於ける功勞と將來人の期待

貴院本會議

〔東京二日發國通〕貴族院は午前十時本會議を開き豫算委員會で可決した昭和七年度追加豫算案二件を上程可決の後施政演說の質疑を繼續、高橋藏相出席の場合は大河內豐耕子が質問するも出席せねば田中館愛橘氏が國民精神國と話教育の關係に就き三室戶敬光子が諸務大臣が無宗教葬儀に參列の件を質問する

衆議院本會議

〔東京二日發國通〕衆議院では午后一時より本會議を開き豫算總會は午前十時開會守屋榮夫氏の質問繼續、商工問題で田島勝太郎氏思想問題を木村正義氏、外交問題を勝井遂也、岡田喜久治、小山谷藏、龜井貫一郎、小野寺章、福井甚三の諸氏が質問の筈であるが、質問者が餘り多數なので豫算總會を一日延期し三日迄繼續すると

各線何れも荷捌き增加す
中旬來の滯貨減少

一月下旬に於ける特產貨物の持込みは管內及各線共舊正で非常に少なかつたが發送は、舊正による撫順の送炭休止のため貨車繰り極めて良好で、中旬來の滯貨は此下旬中に著しく減少した、即ち中旬の發送合計十三萬八千瓩に比し下旬は十九萬五千屯と約六萬屯の荷捌き增加である

これを管內に就て見ると中旬末十一萬七千屯の滯貨が昨卅一日現在には五萬六千二百六屯と減少、下旬中に約六萬屯大量荷捌きが行はれて居る、又中東連絡に於ては東擔所まで充滿してゐた中旬末滯貨三萬二千四百七十三屯が昨夕には一萬五千八百十屯と激減して居る有樣である、而して此下旬管內及各線に於ける發送旬計は左の通り

管內	八七、〇
四洮局	三三、三七四キロ
中東	三〇、一三〇
吉長敦	四五、八七六
合計	一九五、四二一

右內譯

大豆	一五〇、〇三九
豆粕	八、六七五
高粱	七、二〇〇
玉蜀黍	二、四〇〇
粟	二、八九八
雜穀	八、二〇〇
豆油	三一
木材	一、五七二
其他	一四、四〇六
合計	一九五、四二一

露國本年度豫算三千四百五十億
前年度より四百五十億增加

〔モスクワ一日發國通〕勞農露國の本年度豫算は三千四百五十億留で昨年度より四百五十億留の增加を示して居るが歲入の八割四分は社會共產部より又一割六分即ち總額八十餘億留は諸稅金より成り歲出三百三十億留の內國民經濟融資額は二百四十億留、文化事業費千百五十億留、國民教育費七百三十億留、社會保險費百五十億留である、尙は本年度に於ける全國の被教育者數は四千九百萬人の多數に達し右教育費は總軍費餘であるが國防費は豫算の五分に過ぎない、因に各共和國の豫算も增大し總額六十億留の數字を示してゐる

北滿蘇聯領事打合せ會議を開く

〔ハルビン二日發國通〕昨一日チチハル駐在ソビエツト領事ドリビンスキー氏來哈し旬日到着せるポグラニチナヤソビエツト領事エゴロフ氏並に當地スラウツキー總領事と會合してゐるが皇軍の掃匪により東支東部西部線全滅後の情勢の變化に備へる爲のソビエツトの將來の態度につき重要な打合せをする筈だと見られ一般の注目をひいてゐる

井上シドニー總領事來京

井上シドニー總領事は四日大連發沿線各地を視し八日午後六時五十五分來京十二日ハルピンに向ふ豫定である、なほ同氏の日程は左の如くである

四日 大連發營口一泊
五日 鞍山視察奉天
六日 奉天視察
七日 撫順往復
八日 公主嶺視察新京着
九日 新京視察
十日 同
十一日 吉林往復
十二日 新京發ハルピンへ

新京建築助成會社
近く創立總會

新京建築助成會社創立計畫は在新京有力實業家間に進められてゐたが滿洲國政府都市計畫進捗と共に一段と具体化し近く創立總會開催の運びとなつた、同社は資本金卅萬圓で東拓より六十萬圓以內の融資を受くる契約成立せる模樣である

綿糸統稅全滿に亘つて廢止

〔チチハル二日發國通〕黑龍江省における綿系統稅は滿洲國成立以來一時徵稅を中止されて居たが、龍江稅務監督署設立以來再び復活せられ

綿布一疋（重量六、七五ポンド以下） 〇、一三三圓
（重量六、七五ポンド以上八、二五ポンド以下） 〇、一六〇圓
（重量八、二五ポンド以上一〇、七五ポンド以下） 〇、二二〇圓

の割合で徵稅されて來たが既に奉天省に於ては廢止され、吉林省に於ては未施行の儘となつて居り、再三各省商務會より中央財政部に對し同稅廢止を請願して居たが同部に於ても國稅率統一の見地より輸入稅納稅濟のもの（主として內地よりの輸入綿糸）に限つて同稅を廢止することに決定三月一日より實施することゝなつた

國務院二月中諸會議

日	時刻	會議
五日	午前十時	總務廳會議
六日	午後二時	各部連絡會議
七日	午前十時	土地會議
十二日	午後三時	總務廳會議
十三日	午後二時	各部連絡會議
十七日	午後一時	積欠委員會議
十八日	午後一時	清鄉委員會議
二十日	午後二時	各部連絡會議
廿一日	午後一時	法制局會議
廿六日	午後三時	總務廳會議
廿七日	午後二時	各部連絡會議

運輸會議出席の關氏等歸る

〔大連三十一日發國通〕第七回歐亞連絡旅客手小荷物運輸會議は十月二十五日より十一月十二日迄イタリーのナポリに開かれたが私が滿鐵からは鐵道部營業課參事關弘氏及び課員角田氏出席更に兩氏は十二月一日から十七日迄リトワニヤ國カウナス市に開催の第三回歐亞連絡貨物運輸會議に出席シベリヤ經由一月二十八日歸任した

同氏の齎らした兩會議主要可決議題左の如し

旅客小手荷物運輸會議可決事項

一、シベリア及びスエズ經由の東半球回遊手小荷物運送設定の件
一、割引往復乘車券設定の件
一、學生團体運送設定の件
一、團体割引率統一の件、貨物運輸會議可決事項
一、中東鐵道の本連絡運輸實施の件（ハルビン發着取扱ひを開始せるもの）
一、貨物取扱ひ品目表に記載なき貨物の取扱ひをなす事（運賃は地方的運賃とし割引なし）

支拂方法は著拂方法に依る事、これに伴ひ各地方的貨物賃率表を相互に交換し地方的運賃計算に資する事となつた

右の他問題となり可決に至らず一時的辦法として決定せるものは

一、ポーランド國道を本連絡運輸に參加せしめる件でこれは三日間に亘る論議の結果參加は許さぬがケーニッヒブルヒ又はドーボーヒルスにて托送外の方法でワルソー發着の取扱ひを制定する事

二ツーリスト、ビユーロー業者に關する決議事項

一、歐亞連絡會議と同時に同場所においてツーリスト、ビユーロー業者の會議を開く事
一、ツーリスト、ビユーロー業者會議の事務管理者は今後ジヤパンツーリスト、ビユーローとする事
一、ツーリストビユーローの會議の決議事項は之を歐亞連絡會議に提出し兩者間に密接なる關係を保持する事

獨議會解散

〔ベルリン一日發國通〕ヒツトラー氏はその信任を國民の總意に問ふことに決し大統領ヒンデンブルグ元帥は一日夜遂に國會の解散を命じた、總選擧は三月五日である

發送貨物

一日新京驛發送貨物

△新京

大豆	二、四〇〇瓩
高粱	九〇
豆粕	一、五二二
雜穀	九六
其他	五四
計	二、七九二

△中東連絡

大豆	一、九八〇
豆粕	六二
木材	四〇
其他	四
計	二、四八六

△吉長連絡

大豆	三、八四〇
雜穀	二五
木材	四六
其他	四八
計	三、九五九
總計	八、八二七

天氣豫報

二日の氣温、最高零下一二度七分、最低零下二〇度八分、三日の天氣北西の風晴

經濟欄

海外經濟 塊及爲替

倫敦銀塊	一七片〇〇〇
同 遠限	一七片一六分一
紐育銀塊	二五仙八分七
孟買銀塊	五〇留十四・三
米英爲替	三弗三八仙一六分三
米日爲替	二〇弗一八仙
米支爲替	二六弗八分五
スチール株	三六弗四分一
アナゴンダ株	七弗四分一

▲綿花

●米綿

現物	五仙七〇
三月限	五仙六九
五月限	五仙七五
七月限	五仙八五
九月限	五仙九七
十月限	六仙〇四
十二月限	六仙一七
一月限	六仙二四

●印綿

ベンゴール	一六八留比
ブローチ	一九一留比
オムラ	一五〇留比

各地市場

▲大連鈔票

現物	九九七
近期	九九五
遠期	九九八五
寄付	九九五
引値	九九・〇

▲阪神日米

引直	九九八五
高値	九九七五
安値	九九八〇
出來高	一〇〇万
第一回	二〇弗一六分一
第二回	二〇弗四分一
第三回	二〇弗一六分三

▲阪神日英爲替

第一回	一志二片一六分三
第二回	一志二片八分七

▲上海標金 止値 付値 休
▲上海日本向 昨 高 安 本 步

第一回	[illegible]
第二回	[illegible]

▲上海倫敦向 第一回 第二回 第三回 一志 一志 八片八分一〇 一志 [illegible]

▲上海紐育向 二六弗二一〇
▲大連－海向 [illegible]
▲大連臺 [illegible]

▲大連特產

●大豆 袋込 二月限 三月限 四月限 五月限 [illegible]
●豆粕 現物 二月限 三月限 四月限 五月限 [illegible]
●豆油 現物 二月限 三月限 四月限 五月限 六月限 [illegible]
●高粱 現物 二月限 三月限 四月限 [illegible]

▲哈爾賓特產 ●大豆 五月限 六月限 [illegible]
●小麥 二月限 三月限 四月限 [illegible]

▲カルカツタ麻袋 二月限 三月限 四月限 [illegible]

▲大連麻袋 現物 二月限 三月限 五月限 六月限 七月限 出來高 [illegible]

▲大阪株式 株 新 紡 新 新 新 大 大 鐘 鐘 東 [illegible]
▲同 短期 [illegible]
▲大連株式 品 新 鈔 新 五 豆 錢 [illegible]
▲大阪期米 [illegible]

▲仁川期米 當限 中限 先限 [illegible]
▲大阪三品 當限 中限 先限 [illegible]
▲大阪綿花 當限 三月限 四月限 五月限 六月限 七月限 先限 [illegible]
▲橫濱生糸 當限 先限 [illegible]
▲神戸豆粕 現物 當限 先限 三月限 四月限 五月限 六月限 [illegible]

新京市況

大豆 現物	一三、一〇
出來高	四車
高粱	[illegible]
錢鈔	[illegible]
鈔票對金票	九九、七五
大洋對金票	九七、八〇
國幣對金票	九七、六〇
現大洋對鈔票	九八、〇〇

可憐な兒童たちに入學難の脅威

高女は凡そ二倍に上る？　早くも緩和の叫び

首都新京の異狀なる發展とともに今春の各中等學校入學志願者は恐ろしく殺到せんとしてゐる、新京中學の新設による男子の方は幾分緩和の事實はないでもないが女子の方に於て殊に著しく新京

『高女』について最近の調査によると室町六十名、西廣場三十名の兩小學校を始め、ハルピン、公主嶺、鐵嶺、開原、奉天その他遠くは內地、支那奧地からの志望者を合せて實に百七十四名の多數に及んでゐる、而してこれは唯だ大體の見込み數に過ぎないが、解氷期を控へて渡來者の激增とともに事實はこれ以上の多數に上り恐らく二百名を

『突破』するのではないかと見られてゐるこれを前年度の志願者百七名に比較して恐ろしい殺到振りだが、入學定員は今年も昨年同樣二學級九十五名內外に過ぎないところから早くも入學難緩和の聲が喧しく叫ばれてゐる

惠まれる中學の志望者

一方男子側の新京商業について見ると第一志望百七十一名第二志望三十六名、計二百七名で前年の受驗者百二十六名に比較してこれまた隨分多くなつてゐるが新京中學の新設に依つて半減されるどころか却つて激增を示してゐるので、當局でもすつかり面喰つた形である、入學定員は昨年同樣九十名、次に新設新京中學では第一志望九十三名、第二志望八十三名計百七十六名であるが、定員百名に對して第一志望九十六名といふからには大したこともなくこの點、中學志望者に取つては誠に惠まれた譯である、なほ願書受付は來る十五日限りで適確な數字は二十日頃までに判明されるであらう

消費組合野菜部火事

二日零時二十五分頃蓬萊町滿鐵消費組合野菜部から發火したが消防隊の出動によつて零時五十分頃鎭火した、原因は穴藏の野菜を溫めつゝあつた火氣が附近の新聞紙に引火したもので、損害は些少の見込である

豐田旭穰來京

關東軍司令部第四課臼田少佐作詩「北滿の風」を作曲して馴染深い琵琶の曉將豐田旭穰氏は滿日主催の下に皇軍將兵慰問の爲め途中大連、旅順、遼陽、鐵嶺、奉天の各地において慰問演奏を終り一日午后七時五十分着の特急鳩で着京滿蒙旅館に投宿したが二日午前十一時滿日南里支局長の案內で軍司令部を訪問、武藤軍司令官以下各幕僚に對し慰問の挨拶を述べるところあつたが

△二日夜七時より軍司令官々邸で慰問演奏、大使館領事館員全部參集
△三日午前九時半新京警察署訪問慰問挨拶後同署講堂に於て慰問演奏
△三日午後一時より衛戍病院で傷病兵慰問演奏を行ふ
△三日夜軍の招宴に臨む
△四日再び新京警察署を訪問午前九時半より警察官慰問演奏
△四日午後四時半軍司令部を訪問將校集會所で軍司令部全員に對し慰問演奏を行ふ
△四日午後七時より新京高等女學校講堂に於て在京部隊將兵に對し慰問演

尚ほ此間二日或は三日夜執政府で御前演奏會を開く豫定であるが溥儀執政は非常に橘大隊長を崇拜して居られる關係上此席では多分「橘大隊長」の曲を演奏の筈であるが之で新京に於ける豫定を終り五日吉林六日新京へ引返し七月ハルピン九日チチハルに赴き同地より引返して十三日錦州十四日山海關を最後に全滿の慰問旅行の豫定を終る筈

記者に語る

各地に於ける演奏曲目は其他の希望で行ふ事になつてゐるが旭穰氏の最も得意とし且愛好するのは橘大隊長と北滿の嵐であるる關係上主として此二曲を以て全滿將兵の士氣を鼓舞し擘に依る慰問を行ふ筈である來京した豐田旭穰氏は往訪の記者に左の如く語る

自分は之で二度目の滿洲訪問です、此前は氣候の良い時遊びに來たので今度は候寒を選んで參りました、想像も及ばぬ寒さにはほとほと參つてゐます、自動車に乘る間だけなのに刺される樣な寒さを感じます、然し不便な慰安のない奧地で極寒と戰つて活躍してゐる忠勇な我將兵の苦を考へる時は斯んなことはないと自ら取しくなる位です私は大したことは出來ませんが熱誠こめて演奏する心算でで自分の咽喉と腕でいくらかでも皇軍將兵に慰安を與へることが出來ると思ふと愉快です

稀代のスリ犯を領事館署員が逮捕す

懷中には七十六枚の質札

一日午前十一時三十分頃新京總領事館警察署富田、張、兩刑事が日本橋通新京百貨店附近を密行中雜沓にまぎれ同百貨店大玄關から

『洋服』を抱へた怪漢が慌しく逃走せんとしてゐるを發見、追跡逮捕せんとした處、怪漢は所持の洋服を棄てて刑事にくみ付き白晝映畫もどきの大格鬪を演じたが、なんなく賊をねぢふせ逮捕し、本署に引致取調べ中であるが右は全滿を股にかけた稀代のスリ犯人市內北門外市場古衣商德興永方止宿吳金銀(二八)と判明した、懷中から驚くなかれ質札七十六枚を發見したが前記德方に集を喰ひ、新京はもとより各地で大スリを敢行してゐたものである、既に贓品は同署司法係室に

『大山』を築いてゐるか、府內各質店から續々屆出で引續き餘罪取調中であるが、なほ盜難の心當の方は同署司法係に屆けられたいと

爆彈三勇士等上海事變功勞者へ

＝論功行賞發表＝

〔東京二日發國通〕上海事變の戰死者林少將以下六百四十名の論功行賞は賞勳局から天皇陛下の御裁可を仰ぎ本日中正式に發令の筈、其內容は重傷者九割九、六分は金鵄勳章の榮光に浴し、其主なるものは爆彈三勇士が最高の功六級に林少將が勳一等の甲と一大隊長大澤中佐が功三級、步兵四十六聯隊の辻中尉が功四級に敍せらるゝ筈

三勇士は功六級

〔東京二日發國通〕上海事件の戰死者の論功行賞は既報の如く二日上奏御裁可を經て陸軍省から發表される事になつたが、行賞に浴する將兵は林少將以下將校四十名、准士官下士官は江下、北川、作江各伍長以下七十名、兵五百三十三名でその中林少將功三級江灣鎭の鬼大隊長大澤中佐も功三級伊藤大尉辻井軍醫大尉は功四級爆彈三勇士は下士官の最高級功六級と決定した

五百里の討伐から歸りて

人見密山支隊長語る

昨年四月以來北滿に轉戰する事八十八回本年に入つてからは密山、虎林方面で李杜、劉萬魁等の討伐に五百里に亙る廣大な雪の廣原を馳驅し功を果した、密山支隊長人見大佐は二日朝來京記者團と會見しピンとはねたカイゼル髭をしごきながら語る

元日を冷酒とスルメ、蜜柑で濟ませ、下城子より八十台の軍用自動車に分乘、雪の廣原を密山に向ひ前進した、途中の道路は惡く少しの坂でも自動車は空廻りをして困却し、挑雪作業に長時間を費した、行く〳〵小匪賊を掃蕩しながら進んだが、敵は神代さながらの寶に悠々返らず落付いたものであつた、愈よ明日密山乘込の時の感想

李杜を追かけ追かけ密山へ赤い夕陽を背負ひつつ彼の星あたりが彼の城明日は亦聞いて見たや今日

この歌の如く僅に五百米先に李杜が武裝解除をされてゐるの夢

密山で李杜軍を破り李杜は虎林へ逃走したとの事で、初めには虎林へは行かない豫定であつたが、直に虎林に向け進軍したその時の感想

虎林道絕へず吹雪吹きたまり突進く〳〵と進めども先が止れば後は冷汁に赤コヨンコリンする雪の原

虎林まで長驅したが遂に長蛇を逸し、李杜を露領に逃してしまつたが其時の感想は

李杜の逃ぐるを追ふてウスリは思はず萬歲唱へたが、彼の苦笑を眺めつゝ有に赤汲古や水筒の酒

のを目擊した時は若い者はちだんだ踏み非常な意氣込であつたが漸くなだめ事なきを得たのはせめてもの幸であつたそれから直に引返し劉萬魁を追つて楊木林子へ別進し、劉萬魁軍を掃滅、劉は身を以て露營に進入した其際の感想は北滿に一人殘るは劉萬魁止むに止まれぬ楊木林子自動車で追ふのも楊木林子

之れで亦劉萬魁も楊木林子、今回の戰鬪で部下はよく奮鬪し豫期以上の成績を收めたのは實に部下の血と汗と淚との賜である、殊に病を押して出征した者重傷にもまけず最後まで職務を遂行した者等々美談の板挾に遑がない

急ぎ過ぎて轉んで頓死す

氣の毒な新京驛頭　滿洲人の最後

二日午前九時頃新京驛三等待合出口で一滿人が變死したとの急報に接した驛派出所では直に現場に急行取調を行つた處、右は本籍山東省東日府陽香縣石家屯農夫趙文具(五〇)で、二十六日發陽縣燒鍋街から來京、城內西二道街金發隆棧に止宿してゐたが、二日大連に赴かんと午前六時頃から汽車待をして居り、九時發のハト號を普通列車と誤認し急ぎ荷物を擔いでホームに出んとして出口で滑つた拍子に顏面を打ちつけて唇を切り、多量の出血と共に心臟痲痺をおこして絕命したもので死体は商務會へ引渡した

日本側の慰問演藝會

〔ハルピン二日發國通〕第〇團、士に對する日本側主催の慰問、藝は昨一日から四日間ハルピン座で擧行する事になつた

山海關地方で第三回の救恤

老幼男女二千人に

一日正午から山海關で第〇〇團の第三回目の救恤を行つた場所は城內西關西南關の七個所で配給所を設け對麥粉六十噸、高粱八十六袋、蒲團四百六十枚を地方治安維持會の手で

『配給』した、救恤を受けに來たものは三千人に達し老幼男女苦力が三分の二以上を占めてゐた、山海關地方は平津地方との鐵道交通が斷絕せる爲め物資缺乏し物價昂騰した爲め舊正月とは言へ住民は樂しみを求める道もなき折柄此の救恤、遭ひ皇軍の恩惠を衷心より感謝し「支那軍は貧民の持物まで掠奪するに引替へ日本軍は救恤までして與れる、同じ軍隊でもこんなにも異ふものか」と不思議に思つてゐるのも氣の毒だ、治安維持會では武藤軍司令官、小磯參謀長に感謝狀を捧げた

又關東軍派遣の施療は午後一時から三時迄城內に於て大規模の施療を開始したが、之まで多數の患者押掛け、中には遠く城外から人に助けられて來た者もある、近く撫順から石炭が到着するから

『其上』は實費で配給する豫定折柄寒氣の折であり、物資缺乏の折に泣くものに取り大いなる喜びとなるであらう

西南國防委員會を設立

離脫して獨立

〔上海二日發國通〕廣東、廣西、福建の軍事當局者は協議の結果西南國防委員會を設立し、政治委員會に直屬せしめ軍事の最高機關とすることゝなつた、同會は排日軍備、共匪討伐の名目の下に三省軍備の充實を大々的に圖る筈だが國防委員會の外に經濟設計委員會なるものを設け、軍費其他財政的方面の研究を行はしむることゝなつた、斯くして西南各省は軍事及び財政的に中央より獨立せしむる傾向漸次濃厚となりつゝある

滿鐵正副總裁

執政に七寶花瓶一對を贈呈

正月八田副總裁は執政溥儀氏に謁見の爲上京したが、その際は單に新年の挨拶のみに止め、この度改めて滿鐵正副總裁の名で執政に七寶花瓶一對を贈呈する事になり、時恰も在京中の村上滿鐵理事を代理訪問せしめる手筈に決定し本二日右手續を憲兵隊に依賴した

新京城內外に新京料理店組合が二つある

新京料理店組合といふ同じ名の組合が二つ出來てしまつた長春附屬地にあつた料理店組合は各所で長春を改めて

『新京』とするのに倣つて新京料理店組合としたが、之より先、事變後に出來よあた新京城內外から商埠地へかけての料理店の組合が新京料理店組合と稱してゐるので、新京に新京料理店組合が二つあるといふ奇妙なことになつた、粹な商賣だけに稱號侵害だからと訴して權利を主張するなどとも野暮なことをも云ひませずさきに頸道滿南側から附屬地料亭組合へ同流を申込んだのが一體化する因緣だらうと與觀してゐる、ところが滿鐵附屬地と商埠地その他の居住滿人の取締營業の扱ひ方が違ふのでちよつとむづかしい

『問題』でもあるやうだ、尙花代玉代も違ふ滿南は遊興稅も要らないなどといふ話もあるかうどうなるか、双方併せたら六百に近い阿嬌の紅闘粉陣大新京料理店組合とも稱するやうなことになつたら凄く優勢なものだらう

生阿片の賊

二日午後零時三十分頃市內三笠町四丁目路上を徘徊する舉動不審の一滿人を密行中の巡捕が發見誰何した處所持して ゐた麻袋を放棄逃走した、其の中には鹿皮防寒靴及生阿片大三片、小一片白四十匁が入つてゐた

呂榮寰が野戰病院訪問

〔ハルピン二日發國通〕ハルピン市長呂榮寰氏は一日午後三時ハルピン野戰病院を訪問し各病室を巡り慰問の辭を述べ、滿洲國側の慰問品を傳達した

尙二日午後三時より同病院內で招待の上慰問晩餐會を開催する事となつた

柏木部長等通化轉任

〔ハルピン二日發國通〕東邊道通化領事館警察に轉任の警官十二名は柏木部長引率二日午前九時十五分發列車で奉天經由任地に向つた

ハルピン第〇團將士　支那側の慰問晚餐會

〔ハルピン二日發國通〕張惠景、呂榮寰等主催の第〇團將

女學生軍既に熱河に乘込む

―愛國氣騷ぎが起る―

〔錦州二日發國通〕先般上海の女學生は目下危急存亡の秋と云ふので自發的に救國女學生軍を組織すべく祖國愛に燃える有志を募集中であつたが既に募集を終へ六百名の二十歲前後のうらわかい女學生の加盟を見たので愈々熱河正規軍の許に馳せつけ熱河軍の士氣を鼓舞することになり、去る一月十五日頃上海を出發援助に就き十八日北戴河に下車それより海陽鎭を經て熱河省を開魯に侵入して來たが、これ等女學生軍は何れもピストル一挺入刀一振を所持し熱河軍の男子にまじはり戰鬪に參加すると共に無聊に惱む兵士を慰め益々士氣を旺盛ならしめんと赤い氣焰を擧げて居るがこれが爲熱河軍將兵の中にはなまめかしい女學生にすつかりみせられ軍勢はそつちのけで戀愛三昧に耽けらんとし既に戀愛葛藤戰を演じて居るものもあり同方面の熱河軍は頓に氣勢を擧けてゐると

蘇聯領事館員等不穩な會合

民政部に達した情報によれば昂々溪在住の蘇聯領事館員ロスーフ、バカメンコ東鐵商業代辨處長ドルビンスキー等は秘密裡に東鐵俱樂部その他黨員宅に集合し種々不穩な協議を畫策しつゝあるが目下同地駐在の滿洲國官憲は前記蘇聯在住人の態度を監視してゐる

校慰問晚餐會は一日午後七時から東支クラブで開催され、參會者三百名に上り、頗る盛會を極めた

故吉井上等兵の遺骨南下

去る一月二十六日開魯爆擊の際名譽の戰死を遂げ其後新京原隊に送られて嚴かな告別式を擧げた飛行〇〇隊故吉井上等兵の遺骨は二日午前九時五十分新京驛發列車にて戰友熊井上等に奉持されて內地へ悲しき凱旋の途に就いた

手形交換所の新年宴會

〔東京二日發國通〕手形交換所は昨日午後六時銀行集會所で恒例の新年晚餐會を催したが理事池田成彬氏は席上公債發行は七八年度に九年度を入れると二十五億圓餘に達する由で何人も不安を感ずるだらう、政府は減債基金制度を考ふべきだ、日銀引受け公債を市場に賣出すのは當然のことで繼續希望だと演說したのは重視されてゐる

アリウス號船長等

船舶法違反で處分

〔東京一日發國通〕一月三日小笠原島二見に入港したソヴイエツト露西亞の鯨船アリウス號以下の四隻に對し要塞地帶入港として母船アリウス號船長と乘組員二名を警視廳外事課に召喚して調べてゐたが船舶法違反で處分するに決定した

血盟團の豫審終了

〔東京二日發國通〕昨春井上準之助團琢磨兩氏を暗殺した井上日召以下の血盟團十四名の豫審は卅一日終了し十四名は全部殺人罪で東京地方裁判所公判部に廻附された

スケート講習會

六日から開く

新京地方事務所社會係主催のスケート講習會は來る六日から向ふ一週間西公園リンクで行はれる

準スケート競技會

新京準スケート競技會は十二日西公園で行はれることに決定した

卓球大會

十一日商業で

新京ピンポン大會優勝爭覇戰は來る十一日商業學校講堂で開催

滿洲大博覽會準備進捗

〔大連三十一日發國通〕今夏七月二十三日より八月に掛け四十日間大連に開催される大連市催滿洲大博覽會は準備着々進捗し目下關東廳に對し認可の申請中の出品物規定の認可あり次第兩三日中に出品受付を開始する運びとなつた、出品物に對する輸入稅の免除に於ても關東廳並に滿洲國當局に對し全免方を交渉中であるが從來各地で開催された博覽會でも出品物の輸入稅免除は慣例となつて居る事とてゝ今回も輸入稅免除は許容されるものと觀られてゐる、尙ほ博覽會事務局では來る二月二十日頃大連に於て內地各府縣北海道、朝鮮、台灣、關東廳並に滿洲國各省勸業主任の出席を求めて出品に關する諸打合せを行ふ事に決し近く出席勸誘狀を發送する事となつた

第卅三期決算公告

貸借對照表（昭和七年十二月卅一日現在）

資産之部

科目	金額
拂込未濟株金	三〇〇〇〇・〇〇
所有建物	六〇・九〇〇・〇〇
營業用什器	五五五〇〇・〇〇
銀行勘定	一三・七八六・九九
振替貯金	三二二二・八六
現金	一・一六九・七〇
仲買人勘定	一・〇八六・三〇
未收金	一一五六四・二三
假拂金	三五四・一七
合計	一一三・四六五・五五

負債之部

科目	金額
資本金	二〇〇〇〇〇・〇〇
法定積立金	二・四三〇・〇〇
別途積立金	七・五〇〇・〇〇
諸償却積立金	五〇〇・〇〇
退職手當積立金	四〇〇・〇〇
前期繰越金	五〇・八四
株主配當金	一三八・〇〇
未拂金	六・四〇七・三五
假受金	一・四九九・五九
受入保證金	一・九五四・五五
社員身元保證金	二・三三四・一七
借入金	三〇〇・〇〇
株主配當金	八・四〇
當期純益金	一・五八〇・〇〇
合計	一一三・四六五・五五

財產目錄ハ貸借對照表ノ資產之部ト同一ニ付省略ス

利益金處分

一金參萬四千八百參拾九圓貳拾八錢也　前期總益金
一金一萬九千六百七十九圓二十一錢也　當期總損金
差引
一金一萬五千一百六十圓七錢也　當期純益金
一金五百一圓六十四錢也　前期繰越金
合計
一金一萬五千六百六十一圓七十一錢也
之レヲ處分スルコト左ノ如シ
一金八百圓也　法定積立金
一金九千圓也　別途積立金
一金一千二百圓也　諸償却積立金
一金二千圓也　退職手當積立金
一金一千二百圓也　株主配當金「年八分」
一金一千一百圓也　役員賞與金
差引
一金三百六十一圓七十一錢也　後期繰越金
右ノ通リ候也
昭和八年一月三十一日
新京市㊞株式會社
追而取締役社長阿部茂氏、監査役林田精一氏辭任シ取締役社長ニ荒木章氏監査役ニ堀義雄氏ヲ選任何レモ就任ス

婦人と家庭

お孃さんの種痘は腕よりも脚に
――お母樣方の心得帳――

天然痘が流行し種痘が行はれてゐますがそれが男女を問はず無雜作に腕に植ゑられ勝です。ところが近年は女子の洋裝が非常に多くなつて來たので、大きな種痘の痕がモダンな人達には大分氣にかゝる模樣です。從つて將來婦人の服裝も段々洋風化することを考へると女の子の種痘は和洋風に脚の内股、するのがよろしいでせう、また既にそのやうに實行してゐる方も相當あります。腕にしたからとて脚にしたからとてその効果にかはりはありませんが、脚にする場合特に注意したいことはおムツのとれない赤ちやんの場合で種痘してある部分を度々濡らしたり汚したりすると化膿菌が侵入して、おデキになつて膿むこともあり、そのため却つて大きな痕を殘すやうなことになるからです。内股でなく外側にすれば、さうした心配はよほど少くなりますが何れにしても腕でなく脚にされた場合は、僅か二週間のことですから、出來るだけその部分を清潔に保つて、種痘痕を氣にする〔…〕にせぬやうにしたいものです。

洋服の肘や臀の擦れ光の取り方

サーヂ、カシミヤ等の洋服でいつも肘のところがピカ〳〵光つてゐるのは見にくいものですがこれをなほすにはどうすればよいか。勿論完全にとは行きませんが、光つてゐる部分はすり減されて平つべたくなつてゐるのですから、濡れ手拭をあてて熱いアイロンをその上からジユツと音の出るやうにかけて手拭が乾かぬうちにアイロンを止めます、かうすると空氣が廻ります、から幾分平べつたくなつた毛が起きて光が余程なくなります、よく濡れた手拭の乾くまでアイロンをかける方がありますが、それでは折角したものを元に戻すことになつて、却つてアイロンのため光るやうになりますから注意が必要です、細い針金の毛（機）があればそれを用ひるに越したことはありません（完）

映畫女優とスポーツ
女優に好かれるスポーツマンは？

加山久夫

六大學のスターマスコツト

早稻田大學の野球部合宿所の、讀書室には、日活スターの山田五十鈴の桃割姿のブロマイドが張つてある。

この張主は誰かと言ふと強打者の伊達君である、この讃美者は誰かと言ふと、松木君も、三浦君も、山田君も、誰も彼もである。

新進投手の大下君が「皆、山田五十鈴は大好きなんだから、僕達のマスコツトにしやうぢやないか」と、或晩、激しい練習を終つて後の、夕食がすんでの、樂しいくつろぎの場で言ひ出した。

「好からう」と、眞先に應じたのが、早慶戰のヒーローとして謳歌されてゐる佐藤君。これにつゞいて、皆んなが賛成しちやつてまう〳〵山田五十鈴は早大野球部のマスコツトに祭りあげられた。

早稻田贔負の伏見信子からそれを聞いた山田五十鈴、それ迄は帝大贔負であつたが、俄然それからは早稻田贔負となり、近頃はセフトの合間にさへ「都の西北」と、早稻田の校歌を練習してゐるとの話。

映畫女優をマスコツトにしてゐるのは、早大だけかと思ふと、さうではなく、他の野球部も、言ひ合したやうにそれ〴〵お好みの女優をマスコツトにしてゐる――それをコツソリ御紹介すると、慶應は伊達里子法政は伊達里子の親友の井上雪子、明治は夏川靜江、帝大は高津慶子、そして立教はさすが、ミツシヨン、スクールだけあつて、オックス社のレーア、ウリツク孃を選んでゐる由。

花岡菊子のスポーツ二插話

松竹の蒲田撮影所では、最近陸上競技部が設けられる由、で結城一郎あたりは暇さへあれば、正門左手の廣場で、ランニングの練習をやつてゐる。男優側で一番熱心なのは、結城一郎で、女優側ではと、云ふと、お俠で鳴らした三羽烏の花岡菊子と伊達里子と井上雪子の三人である。

この中で菊子、花岡が一番熱心で、隙をみてはランニング、パンツをはいて走つてゐる、その白い足に大部屋の男優連すつかり見惚れてしまつて、一人がくつくと、「スポーツつて、ありがたいものだね」は違えねえ。

男優達に白い肢をみせて、驚喜の涙にくれさしてゐる花岡菊子は大のスポーツファンで特にランニングが好きである。

ぢや、ランニング選手で誰が一番好きかと聞くと、少さい聲で、「吉岡さんが、もつと好い男だつたら好きに成れるんだけど……」とは、吉岡隆德、お前え左の眉がかゆかつたことは無かつたか。

日活女優のスポーツファンオンパレード

松竹では女優中花岡菊子をスポーツ、ファンのナンバーワンに位さすべきであるが、日活となるとスポーツファンのスター揃ひである。一寸いづれをナンバーワンと定め難い。先づ、伏見直江と信子の姉妹は野球、水泳、ランニング、何んでも好きの上に大が付く程であるが、昨秋の早慶戰には大阪から飛行機で見物に來た程ののぼせ方である。

それでゐて、信子は早大贔負で、姉の直江は慶應贔負だものだから、早慶戰となると何方が勝つても姉妹戰が始る――早慶戰、伏見姉妹を掴み合はす、なんて駄ぢやれにもならない。

永泳は夏川靜江が第一のファンであつて、一昨年あたり迄は高石を大の贔負にしてゐたが、昨夏、ロスアンゼルスのオリンピツクで北村少年が千五百米で優勝して以來といふものは大の北村黨となり、「妾、一生結婚しないで、北村さんを養子にして、死に水をとつて貰はふか知ら。」なんぞと、お婆さんらしいことを言つてゐるが、靜江さん、さつちやん小僧でなく、婆あちやん娘になつては駄目ですぞ。

靜江の外にも、水泳黨は數多い一夜、水泳黨のスターの面々が揃つてゐる席で、かりに皆さんが、水泳選手と結婚するとしたら誰を選びますか、といふ筆者の問ひに、次の樣な返辭があつた。

瀧口富士子は斷然、大横田ださうである。川上彌生は、石原田とのこと。峯吟子が日本選手でなく、ワイズ、ミラーと答へたは、さもありなん。

森靜子、拳鬪家とは結婚せぬ話。

帝キネの森靜子は虫も殺さぬ樣な顔をしてゐるが、あれで拳鬪が大の好きで。「ポカリ、ポカリつて、なぐりつこをしてゐるのをみてゐると、斷然愉快ですわ。」と言ふから愉快である。併し、拳鬪家を亭主に持たうとは思はぬさうである。何故かと訊くと、靜子眉をひそめて、「だつて、夫婦喧嘩の時困るわ。」なある程。

琴糸路とスキー

河合映畫が、他社に對して斷然自慢のものが二つある。――アーケリー撮影機と琴糸路ださうだ。

その河合映畫の琴糸路だが彼女はとてもぢやないが、スキー黨である。毎年、夏の中から、冬を戀しがつてゐるといふから、驚く、併し彼女と仲の良い、春水麗子の話によると、「すべるよりもころぶ時間が多いのよ。」ださうだから、これが本當の下手の横好きといふのかな

山路ふみ子と庭球

帝キネの山路ふみ子は將來を最も期待されてゐる新進の一人であるが、彼女の庭球は相當堂に入つてゐる。帝キネの庭球部でナンバーワンの定評ある、河津清三郎あたりと毎日ポンポン球を打ち合つてゐるが、彼女の前途の如く、庭球も又素質に惠れてゐるさうである。一多幸を彼女に、いやまず幸あれと祈つておく

大江美智子とゴルフ

市川右太エ門ロダクションの大江美智子は、寶塚時代から、ランニングで知られてゐたが、このごろはランニングはやめて、ゴルフに凝り出し毎日、男と二人連でゴルフ場通ひださうだ。

男つて何者？といふので、探訪したところが、彼女の兄さんであつた。

彼女のゴルフ技は、前に書いた河合映畫の琴糸路のスキーと同じで、横好きらしいと、右太プロ雀がさへずりあつてゐる。

（寫眞說明）上段右より山田五十鈴伏見直江、花岡菊子、琴糸路中段右より井上雪子、大江美智子、伊達里子、森靜子下段右より山路ふみ子伏見信子、夏川靜江、瀧口富士子

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	一六〇	氷鯛	七二
小タイ	六六	マグロ	一七〇
サバ	二〇	アヂ	一三二
カレイ	二六	ヒラメ	一三三
ボラ	二〇	コノシロ	三一
キス	六〇	ムツ	二一
カナガシラ	三三	タコ	三五
甲イカ	六〇	クルマエビ	一〇〇
小カニ	一七	アナゴ	二七
ナマコ	二五	アワビ	七五
カキ	二五	カマボコ	二六
チワワ	一〇	カレイ	一〇
日高カレイ	一二	タラ	八五

變幻黑船往來

(作) 寺島柾史　(畫) 布施長春

第十四回　根岸の宿 (六)

『白軒の奴、まだ遠くへはゆきますまい。さ、旦那あとを!』

藤太は荒々しく疊を蹴つて起ちだした。

『さうだ、まだ遠くへはゆくまいのう』

、やつと、われにかへつた箕浦は白軒に寄する新な憎惡にもえながら、同じく荒々しく疊を蹴つた。

と、射殺されたはずの女が、意外にも、むつくり鎌首をあげた。

『お、お待ち! 箕浦の旦那に、それからいつかの若造……』

『えつ!』

『おゝ、おまへは?』

ふたりは、ぎよつとして立とまつた。

『あたしア、死にやしないよ。……白軒の野郎の拳銃は、空彈だつたのさ……』

『な、なアんだ』

藤太は仰山さうに肩を落した。

それを默殺して、紫園は箕浦の方を向き直つた。膝を崩し、片肘ついてゐる姿は、あくまでも仇めいてみえる。

『ところで、箕浦の旦那』

『なンだ』

『おまへさん、白軒のあとを追はうとなさるのねえ』

『いかにも』

『ぢア、このあたしも一緒に連れていつとくれよ』

『な、なンだと?』

箕浦は、眼をみはつた。

『おまへさんや、そこの若造ぢやア白軒の野郎、少し荷が勝すぎらア……』

あきらかに嘲笑だ。

『わつちを、また』

藤太は横合から口をとがらした。

『オホ……あのときア、いやな相手さ。だが、いまは箕浦の旦那と同樣に、あたしの味方よ』

『また、いつもの手なんだらう』

箕浦は、さすがに容易にそれに乘らうとはしない。

『いつもの手? 馬鹿にしてらア……』

紫園は吐き出すやうにいつて、

『いゝかい、こんな目にあはして逃げて行つた白軒の野郎は、あたしにとつても、今は憎い畜生なんだ。その氣持がわからないかい』

『なるほど、よく分つた。……で野郎の行先を、お前は知つてゐるとでもいふのかい』

箕浦は、やつと御用番らしい落着きをみせて訊ねた。

『知らずにどうしよう』

『なに!』

『どうせ、白軒の野郎も江戸にはをられない體、高飛びにきまつてゐる』

『で……?』

『その、落ゆく先は浪路はるかな蝦夷が島……蝦夷松前から黒船に乘込んで外國へ渡航しようといふ寸法……。だが、どうせその前に熊の餌食になるだらうよ。……その熊の餌食にならぬ前に、追つかけていつて生捕するのが、おまへさんだちの役どころ……。さア、お互に味方になつて、蝦夷松前へ押かけるとしませうや』

死顏ならぬ山村紫園は、ぐいと身を起して、かう見得を切る。

それを眺めて寄刺り藤太は、妖火な女の態度にすつかり愉快になつてしまつた。